ONKYO®

2.4GHz DIGITAL WIRELESS HEADPHONE

MHP-UW2

取扱説明書

Made for iPod

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に裏表紙に記載の保証書とともに大切に保管してください。

主な特長

■ 2.4GHzの電波を使用したワイヤレスヘッドホン
■ iPodコネクタに接続したiPodの音楽をワイヤレスヘッドホン本体で簡単操作
■ 直線距離約10mの到達性能
（ご使用の環境によって異なります）
■ 小型リチウムイオン電池の採用で、コンパクトボディを実現
■ トランスミッターのiPodコネクタをフレキシブル化することでiPod側のコネクタの負荷を軽減
■ トランスミッターのφ3.5ステレオミニ入力により、iPod以外のデジタルオーディオプレーヤーにも対応
■ 充電用ACアダプターも付属し、外出先でも簡単充電
■ 充電池が切れた時でも、付属のφ3.5ステレオミニケーブルを使用すれば、有線タイプのヘッドホンとして使用可能
■ USBポートから簡単に給電ができる専用充電用ケーブル
■ 肌あたりのやさしいイヤークッション採用

• iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。

ご注意

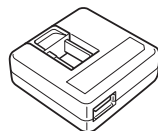
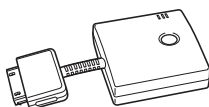
• 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近くでは、電波が干渉して音が途切れることがありますが、本機の故障ではありません。
• PC（パソコン）の音楽をワイヤレス送信はできません。
• ヘッドホンのハウジング部を手のひらで覆ったりすると、一時的に音が途切れることがあります。また、トランスミッターを衣服のポケット等に入れ、ポケットの中で肌に近づいた場合も、一時的に音が途切れることがありますが、本機の故障ではありません。

付属品

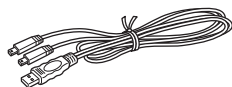
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表しています。

● ヘッドホン本体（受信部）（1）

● トランスミッター（送信部）（1）

● 充電用ACアダプター（1）（100V専用）

● 充電用ケーブル（1）

● φ3.5ステレオミニプラグケーブル（長）（1）（ヘッドホン接続用）

● φ3.5ステレオミニプラグケーブル（短）（1）（トランスミッター接続用）

● 取扱説明書（保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内付）（本書1）
● ユーザー登録カード（1）

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。	高温注意 感電注意
⦸記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。	分解禁止 ぬれ手禁止
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。	電源プラグをコンセントから抜く 必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに「充電プラグ」を抜く

充電プラグを抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の充電プラグを抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

使用場所に関するご注意

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水濡れ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

分解、改造しない

分解禁止

- 火災・感電の原因となります。
- 内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

使用上のご注意

■ 中に水が入ったら

注意

- 万一、本機の内部に水が入った場合は、すぐに本機の充電プラグをPC（パソコン）やコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

注意

- 万一、誤って本機を落とした場合や、破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。充電プラグをPC（パソコン）やコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

⚠警告

■ 自転車、オートバイ、または自動車などを運転中には絶対に使用しない

- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■ 長時間大きな音で使用しない

- 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コードに触れない

- 感電の原因となります。

■ 心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない

- 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

■ 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない

- 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する

- 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

⚠注意

接続に関するご注意

■ 接続について

- 充電プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

取り扱い上の注意

■ 音量を上げすぎない

- 電源を入れる前には音量（ボリューム)を最小にしてください。過大電流で本機が破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ かゆみ・違和感を感じたら使用しない

- 使用中にかゆみ・違和感を感じたときは、すぐに使用を中止して医師にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

- お手入れの際は、安全のため必ず充電プラグをPC（パソコン）やコンセントから抜いてください。
- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

本機に接続できるiPodおよびデジタルオーディオプレーヤーについて（2008年9月現在）

本機のトランスミッターには、以下の iPod やデジタルオーディオプレーヤーを接続することができます。

- **iPodコネクタを使用する機種**
  iPodコネクタを装備した下記のiPodが接続できます。
  •iPod with dock connector　•iPod mini　•iPod with color display
  •iPod nano（第1･2･3･4世代）　•iPod with video　•iPod classic　•iPod touch
- **φ3.5ステレオミニジャックを使用する機種**
  iPodコネクタを持たず、φ3.5ステレオミニジャック型のヘッドホン端子を持つデジタルオーディオプレーヤー。

ご注意

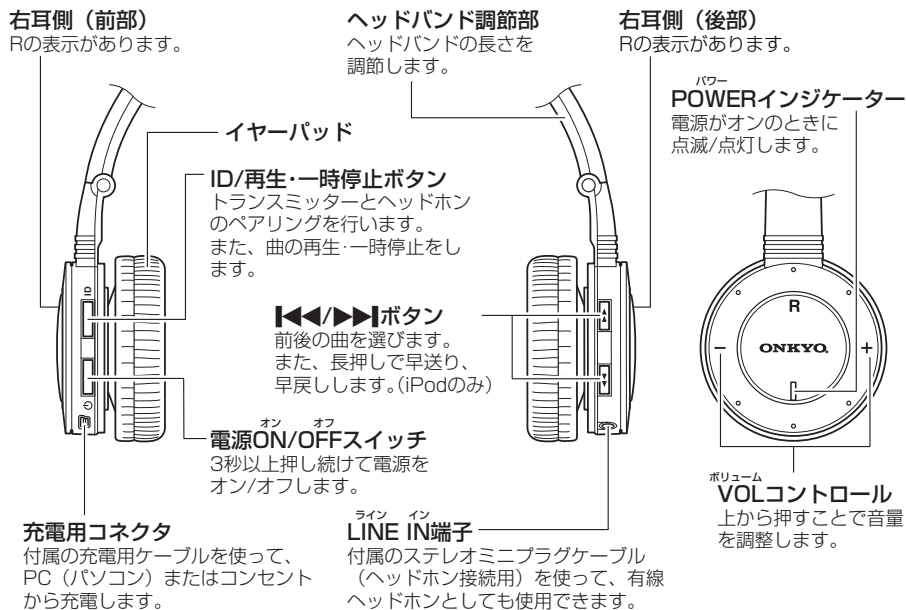
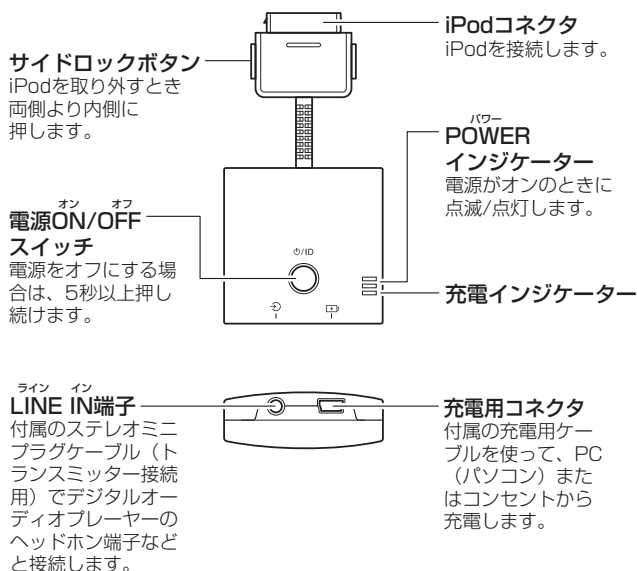
- 本機との接続の前に、必ずお使いの iPod を最新のバージョンにアップデートしてください。
  詳細は、Apple 社のホームページのサポートのソフトウェアアップデートをご覧ください。
- 本機で操作（音量調整を除く）できるのは、iPod コネクタで接続した機種のみです。

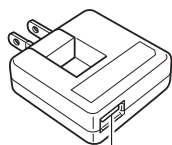
電波について

本機を使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかにご使用の周波数を変更するか、使用を停止してください。混信回避のための処置等については、コールセンター（本書14ページに記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コールセンター（本書14ページに記載）へお問い合わせください。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
  - **2.4GHz用周波数帯域を利用する、無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近くでは、電波が干渉して音が途切れることがありますが、本機の故障ではありません。**
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近くでは、音声や映像にノイズが入ることがありますが、本機の故障ではありません。

各部の名前と主な働き

■ ワイヤレスヘッドホン

■トランスミッター

■ 充電用ACアダプター

コンセントからトランスミッター、ヘッドホンに充電するときに使用します。

ヘッドホンとトランスミッターのペアリングを行う

本製品のヘッドホンとトランスミッターは工場出荷時にすでに「ペアリング」と呼ばれる相互通信のための処理が行われているため、お買い上げいただいた時からワイヤレスヘッドホンとしてお楽しみいただけますが、まれに何らかの原因により「ペアリング」が解除されてしまった場合（ヘッドホンのPOWERインジケーターの青色LEDが点滅したままになっている）は、以下の手順に従って「ペアリング」を行ってください。

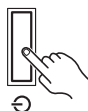
ご注意

「ペアリング」の前にヘッドホンとトランスミッターの両方が充分に充電されている必要があります。

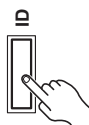
1.

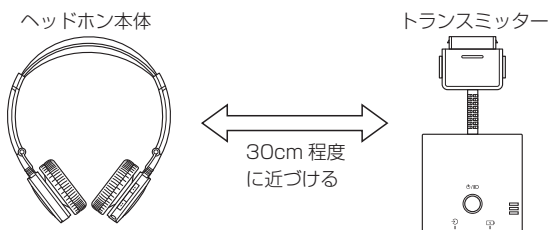
トランスミッターを「ペアリング」モードにする

トランスミッターの電源ON/OFF（オン/オフ）スイッチを3秒程度押してください。
POWER（パワー）インジケーターの青色LEDと赤色LEDが交互に点滅し、「ペアリング」モードになります。

2.

ヘッドホンの電源を入れる

ヘッドホンの右(R)側にある電源ON/OFFスイッチを3秒以上押してください。POWERインジケーターの青色LEDがゆっくりと点滅します。

3.

ヘッドホンのIDボタンを押して「ペアリング」をする

トランスミッターとヘッドホンを互いに30cm程度の距離に近づけ、ヘッドホンの右(R)側にあるIDボタンを3秒以上押してください。
「ペアリング」が始まります。

4.

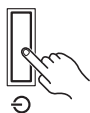
「ペアリング」の完了

ヘッドホンとトランスミッター両方のPOWERインジケーターの青色LEDが点灯すると「ペアリング」の完了です。

ご注意

上記の操作で「ペアリング」がうまく行われなかった場合は、一度ヘッドホンとトランスミッター両方の電源を「OFF」にし、「ペアリング」を行う周囲の他のワイヤレス製品を一度停止してから、再度上記 ***1*** ～ ***3*** の手順に従って操作をし直してください。

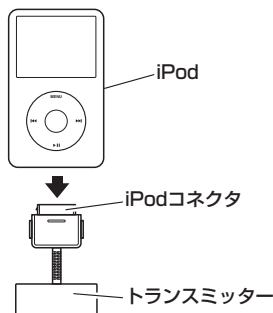
ヘッドホンを使う（iPodコネクタ装備のiPodの場合）

1.

ヘッドホンの電源を入れる

ヘッドホンの右(R)側にある電源ON/OFF（オン/オフ）スイッチを3秒以上押してください。POWER（パワー）インジケーターの青色LEDが点滅します。

ご注意

本機は工場にてチェック用に少し充電をしておりますが、ご購入後、最初にご使用になる前に付属の充電用ACアダプターを使用して、8時間程度充電してからご使用ください。

2.

トランスミッターのiPodコネクタとiPodを接続する

iPodコネクタは正しい方向で接続してください。

3.

トランスミッターの電源を入れる

トランスミッターの電源ON/OFFスイッチを押してください。トランスミッターとヘッドホン両方のPOWERインジケーターの青色LEDが点滅から点灯に変わります。

4.

iPodで好きな音楽を再生する

5.

使い終わったら、ヘッドホンの電源を「OFF（オフ）」にする

ヘッドホンの右(R)側にある電源ON/OFFスイッチを3秒以上押し続けます。ヘッドホンとトランスミッター両方のPOWERインジケーターが消えて、電源がオフになります。

ご注意

使い終わったら必ず電源をオフにしてください。オンのままにしておきますと、自然放電により４時間程度で電池がなくなる場合があります。

iPodとの連動動作

■ 本機によるiPodとの連動動作

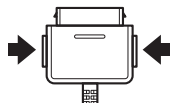
以下の連動動作ができますが、iPodの機種や再生するソースによっては、一部の機能が動作しないことがあります。

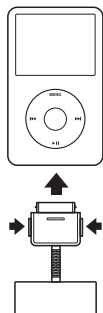
- **再生/一時停止動作**
  ヘッドホンのIDボタンを押すと、曲の再生/一時停止ができます。
- **スキップ動作**
  ヘッドホンの⏮/⏭ボタンを押すと、前後の曲が選べます。
- **早送り/早戻し動作**
  ヘッドホンの⏮/⏭ボタンを押し続けると、早送り/早戻しができます。

ご注意

- iPodのビデオを再生する場合は、連動動作しません。
- ヘッドホンのバッテリー残量が少なくなると、連動動作ができない場合があります。そのような場合は、付属の充電用アダプターで充電してお使いください。（☞11ページ）

iPodの取り外しかた

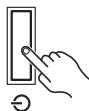
1.

トランスミッターのサイドロックボタンを両側から内側に押す

2.

サイドロックボタンを押しながら、iPodを引き抜く

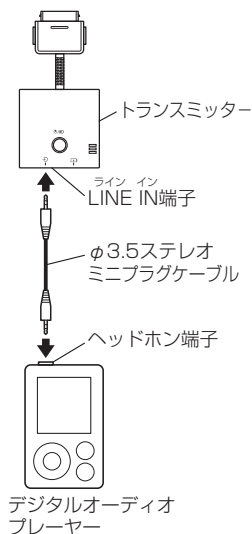
ご注意

サイドロックボタンを押さずに強い力でiPodを引き抜かないでください。故障の原因となります。

ヘッドホンを使う（iPodコネクタを持たないiPodおよびその他のデジタルオーディオプレーヤーの場合）

1.

ヘッドホンの電源を入れる

8ページの手順***1*** の操作を行います。

2.

トランスミッターとデジタルオーディオプレーヤーを接続する

付属のφ3.5ステレオミニプラグケーブル（トランスミッター接続用）を使って、デジタルオーディオプレーヤーのヘッドホン端子とトランスミッター底部にあるLINE IN（ライン イン）端子を接続します。

ご注意

- この接続の場合は、デジタルオーディオプレーヤー側の操作（再生・早送り・早戻し）等はヘッドホン側では行うことができません。直接デジタルオーディオプレーヤー側で操作してください。
- LINE IN端子を使うときは、同時にiPodコネクタにiPodを接続しないでください。iPodやデジタルオーディオプレーヤー及び本機の故障の原因となります。

3.

トランスミッターの電源を入れる

8ページの手順***3*** の操作を行います。

4.

デジタルオーディオプレーヤーで好きな音楽を再生する

- デジタルオーディオプレーヤーの操作については、お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

5.

使い終わったら、ヘッドホンの電源を「OFF（オフ）」にする

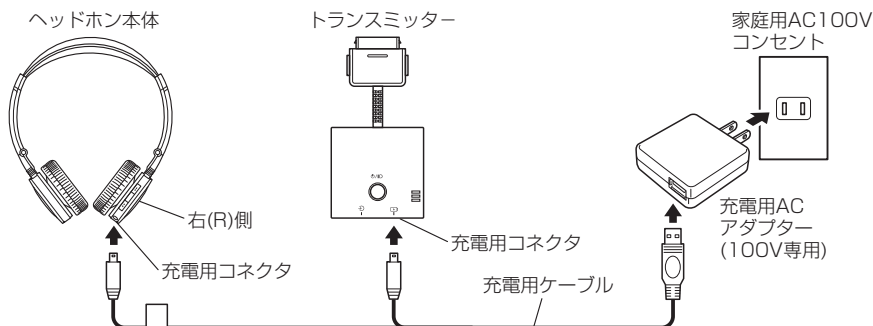
8ページの手順***5*** の操作を行います。

ご注意

デジタルオーディオプレーヤーの電源は、オフになりません。

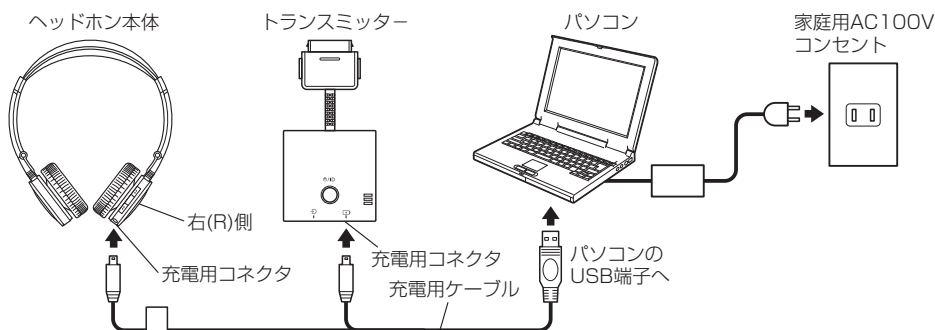
充電方法

ワイヤレスヘッドホンおよびトランスミッターは、以下の二通りの方法で充電できます。

■ 付属の充電用ACアダプターを使用する場合

ご注意

ヘッドホンやトランスミッターを充電する場合は、iPodやデジタルオーディオプレーヤーをはずし、ヘッドホンとトランスミッターの電源をオフにしてから充電を行ってください。

■ パソコン（PC）のUSBポートを使用する場合

デスクトップパソコンまたはノートパソコンのどちらでも使用できます。

ご注意

- ノートパソコンのUSB端子を使用する場合は、ノートパソコンの電源は必ずコンセントから給電してお使いください。
- ヘッドホンやトランスミッターを充電する場合は、iPodやデジタルオーディオプレーヤーをはずし、ヘッドホンとトランスミッターの電源をオフにしてから充電を行ってください。

■ 充電について

ワイヤレスヘッドホンおよびトランスミッターを充電する際、POWER(パワー)インジケーターが以下のようになります。

- **●充電開始直後および充電中：赤色に点灯**
- **●充電完了時：消灯**

ご注意

- 付属の充電用 AC アダプターおよび充電用ケーブルを必ず使用して充電してください。付属のもの以外を使用すると、故障の原因になります。
- 充電するとヘッドホンやトランスミッターが少し熱くなりますが、故障ではありません。

■ 充電式電池取り換え時期のめやす

充分に充電しても使用できる時間が著しく低下したら、充電式電池の取り換え時期です。
お買い上げ店または14ページの「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」に記載のオンキヨーコールセンターへお問い合わせください。

イヤーパッドを交換する

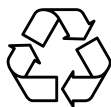
イヤーパッドは消耗品です。汚れたり、破損した場合は、下記の手順でイヤーパッドを交換してください。
このイヤーパッドは市販されていませんので、お買い上げ店または14ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」に記載のオンキヨーコールセンターへお問い合わせください。

1. 古くなったイヤーパッドをはずす

2. イヤーパッドをハウジングの外周に合わせるようにはめ込む

⚠危険　充電式電池について

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

主な仕様

※仕様および外観は性能向上のため、予告なく変更することがあります。

■ ワイヤレスヘッドホン

形式	：ダイナミック型
ドライバーユニット	：口径30mm
定格出力	：20mW
出力レベル	：0.8Vrms（1kHz）
周波数特性	：50〜20,000Hz、−3dB
SN比	：91dB
外形寸法	：155(幅)×175(高さ)×54(奥行)mm
質量	：約105g（内蔵のリチウムイオン電池含む）

■ トランスミッター

USB1.1準拠

使用帯域	：ISMバンド2.401GHz〜2.477GHz
選択チャンネル数	：40ch（2.401GHz〜2.477GHz）
外形寸法	：46(幅)×90(高さ)×17(奥行)mm
質量	：約35g（内蔵のリチウムイオン電池含む）

■ ワイヤレスヘッドホン、トランスミッター共通

電源	：リチウムイオン電池（内蔵）
電池持続時間	：約8時間［内蔵リチウムイオン電池フル充電時］
充電時間	：約3時間（フル充電）※初回のみ8時間の充電を推奨
動作温度	：10℃〜35℃

修理について

■ 保証書

保証書は、本取扱説明書裏表紙に付属しています。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、充電プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または14ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　MHP-UW2
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は14ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または14ページのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は裏表紙の保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または14ページのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または14ページのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

電話でのお問い合わせ：
オンキヨーコールセンター
ご購入相談、機能・取り扱い相談、修理窓口
電話番号：050-3161-9555

- 受付時間：月～金曜日 10：00～18：00（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）

メールフォームによるお問い合わせ：
http://www.jp.onkyo.com/　から
オンキヨーホームページを開く
↓
▶ **サービス・サポートをクリック**
↓
「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」をクリックしてください。

製品に関する最新情報などは：

ホームページアドレス
http://www.jp.onkyo.com/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　（　　）
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00～18：00
（土·日·祝日·弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G0809-2

SN 29344908A

29344908A

ONKYO® 音響映像機器保証書 持込修理

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店または14ページのオンキヨー修理窓口に修理をご依頼ください。

品 番		MHP-UW2	お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前	様	保証期間（お買い上げ日より）	本体　1 年
	ご住所　〒		取扱販売店名・住所・電話番号	
	電話番号　（　）			

●お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

オンキヨー株式会社　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2番1号

キリトリ線

〈無料修理規程〉

本保証書は保証期間中、商品のハードウェアを保障するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口にて無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口にご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、14ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、オンキヨー修理窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3) お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）、水掛かり等による故障および損傷
   5) 一般家庭用以外（例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   6) 消耗品(各部ゴム、電池、レコード針、キャリングケース、イヤークッション等)の交換
   7) 本書の提示がない場合
   8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   9) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または14ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、オンキヨー修理窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書13ページをご覧ください。